

「コンポスト」とは何ぞやの巻

ごみまるです。

今日は前回のひとしぼりの巻の最後に触れた「コンポスト」についてお話しさせていただきます。

コンポストとは日本では「生ごみから堆肥を作る活動」を指す言葉として多く使われています。

「堆肥 (compost)」、「堆肥を作る容器 (composter)」という英単語から転じての「生ごみから堆肥を作る活動」です。

コンポストは微生物などの働きによって、生ごみを堆肥へと変化させる取り組みです。

電化製品のような容器や段ボールを利用して、ベランダなどで手軽に始められる段ボールコンポスト、生きたミミズを活用するなど、様々な方法があります。

環境問題、ごみ問題の一番の解決策は捨てないことです。環境を壊すものが捨てられなければ問題は発生しません。

3Rも一番大切な「R」は「Reduce・リデュース」(ごみを出さない)と位置付けています。

そういった点で、生ごみという無用なものを、堆肥という有用なものへ変化させるコンポストは正に夢のような取り組みですね。

また、「堆肥を作っても、撒くところが無いよ」とお嘆きの方にも、コンポストはお勧めです。

生ごみを堆肥とすることで水分が少なく、捨てる際のごみ減量化につながります。

前回のひとしぼりの巻でもお伝えしたとおり、生ごみの水分を減らして捨てていただくことは、ごみの焼却効率の向上、ごみ減量にもつながります。

ただし、世の中良いこともあれば、悪いこともあるのが常でして、夢のようなコンポストも適切に管理しなければ悪臭が生じたり、虫がたかたりとデメリッ

トも存在します。

コンポストが素敵な取り組みであることは間違いありませんが、これからコンポストに取り組もうとお考えの方は、「思ってたのと違う！」とならぬよう、まずはじっくりご自身と相性の良い手法を探ってみてはいかがでしょうか。

あともう一つのデメリットは、ごみが無くなるとぼくの食べ物が無くなっちゃうなあ…

いやいや、環境が良くなれば！コンポストに取り組んでいる時はぼくのごことはお忘れください！

#### 【ごみまる放談について】

「ごみまる放談」は環境問題への興味、関心を持っていただくための導入部分として作成いたしました。

広い年齢層に気軽に読んでいただくことに主眼を置いたため、話し言葉や多少ふざけた表現が含まれております。

不明瞭、不適切などのお気づきの点がございましたら、資源循環課減量推進係（電話048-228-5370）までご指摘いただければ幸いです。